

今年度の英語訪問では、授業参観や事後協議の柱となる領域を各学校で決定し、該当の領域の言語活動を実施していただきました。そこから見えた状況をもとに、生徒が「できた」「わかった」と実感できる授業へレベルアップするためのポイントを2点お伝えします。



参考にしたい授業の様子

- ◎目的、場面、状況が工夫されていた。
- ◎中間指導をはさみ、言語活動を繰り返し実施していた。
- ◎問いやポイントを示してから、読む活動や書く活動が行われていた。

改善が必要な授業の様子

- △目的・場面・状況の設定がなく、ただ読んだり聞いたりする活動が行われていた。
- △言語活動の際、教師が型を示しすぎてしまっていた。
- △ゴールの姿の生徒との共有がなされていない。

授業づくりで大切にしてもらいたいポイント

①ゴールの明確化と共有

身につけたい力を明確にして単元や授業を組み立てるようにしましょう。ゴールを設定する際には、生徒の興味・関心を踏まえて、目的、場面、状況を具体的に設定しましょう。また、ゴールの姿を生徒と共有し、生徒自身がどんな力が身につくのかを意識することも大切です。

②型を示しすぎない言語活動の実施

表現の領域では、メモを活用した発表など、型を示しすぎないことが大切です。

Small Talkでは、トピックのみを示すなど、既習表現を駆使して、自分の気持ちや考えを伝え合う活動になるようにしましょう。



英語訪問でお伝えした、今後の授業づくりに向けての動画です。ぜひ、ご覧ください。



令和5年度全国学力・学習状況調査
調査結果を踏まえた学習指導の改善・充実に関する指導事例
～学習過程を意識した授業作り～
事例4 「話すこと」聞いたことを基に自分の考えや理由を話す
第3学年の実践
＜国立教育政策研究所 中学校英語指導事例集より＞



<ポイント①の具体例> 単元末の生徒の姿を明確にし、適宜生徒と共有する。

単元末のゴールを単元のはじめから生徒と確認したり、単元を見通したワークシートを活用したりする等、生徒自身が単元末にどんな力がつくのかを単元を通して意識できるようにしましょう。



＜単元の指導と評価の計画＞

時間	■:目標
1	■単元の目標を理解する。
2	■環境問題を解決しようとしている人々の取組に対する考え(その1)を聞き、要点を捉える。
3	■環境問題を解決しようとしている人々の取組に対する考え(その1)を聞き、その内容を基にして、自分の考えと理由を話す。
4	■環境問題を解決しようとしている人々の取組に対する考え(その2)を聞き、その内容を基にして、自分の考えと理由を話す。
5	■相手に納得してもらうために、プラスチック使用についてのALTの考えを聞き、その内容を基にして、自分の考えと理由を話す。
6	■身近な環境問題を解決するためにできることについてまとめるために、環境問題を解決しようとしている人の話を聞いて分かったことを基にして、自分の考えと理由を話す。

<ポイント②の具体例> 言語活動でメモや思考ツール等を活用する。

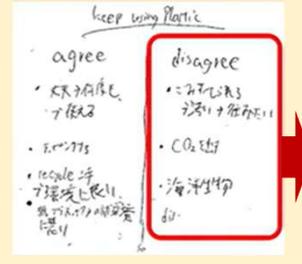
【第5時】相手に納得してもらうために、話し手(ALT)の意見を聞き、要点を捉え、聞いたことについて自分の考えと理由を話す。
(動画08:37～)

原稿に書いたものを読むのではなく、メモや思考ツール等を活用し、自分の考えを整理しながら英語で表現する活動を設定してみましょう。



☆聞いた内容について書いたメモに、自分の考えやその理由を加筆するなど、メモを活用して、自分の考えとその理由を整理しメモを基に話します。

<生徒が書いたメモ>



<生徒が話した内容>

I disagree. I have 3 reasons. First, many people throw away plastic, so the city become dirty. I have 1 question to Jeo(ALT). Do you want to live dirty city? ... (ALTとやりとりし、意見は続く)